

けいはんなから新しい産業を

【寄稿】

京阪奈の潜在力

京都大学総長

松本 紘氏

【大学紹介】 P3

奈良県立医科大学

【注目！企業インタビュー】 P10～11

有限会社 アップル・ワイズ

【けいはんな歴史と文化】 P18～19

「宮廷貴族 普賢寺殿 近衛基通」について

けいはんなビュー

【広報誌】

View

エコをけいはんなの文化に

vol.15

P1～
特集1

「第7回けいはんな

ビジネスメッセ」

P4～
特集2

国立国会図書館10周年記念事業

図書館大会

「市民公開講座2012」の紹介



(公財)関西文化学術研究都市推進機構
関西文化学術研究都市建設推進協議会

京阪奈の 潜在力



京都大学総長
松本 紘氏

私自身が日々京都で働き、大阪に会議にでかけ、奈良に居を構え、身近に感じているからこそそう思うのかもしれませんが、国内において関西の学研都市の認知率は今一つのよくな気がします。そして、この広報誌をながめると、「けいはんな」の文字、なんとなく影が薄い。三都を背景に訴求力をもつ「京阪奈」という漢字表記との使い分けが必要なのかもという考えが頭をかすめます。

それはさておき、東日本大震災以降、自然災害のリスクの高い国土に生きる日本人にとって、国家機構のリスク軽減や日本人のモビリティをあげ、国土を一層効率的に利用するという観点から、一極集中型の社会構造の弊害はもはや十分すぎるほど明らかになっていると思います。そうはいっても、一極集中を直ちに解消し、日本全体を均一に整備することは不可能ですし、日本の閉塞感を打破するイノベーション創出の観点からもそれは賢い選択ではありません。むしろ中核の複数化こそが目指すべき方向です。

イノベーションを生み出すプロセスは突き詰めて考えれば、要素間のこれまでにない新たな結合です。すると、組み合わせの数が増えれば、イノベーションを生み出す可能性は大きくなることとなります。面白いことに、組み合わせの数は組み合わせられる要素の数が増えると飛躍的に増えます。高校で登場した順列・組み合わせを思い出していただければ、5個の異なったものから2つを選ぶ組み合わせの数は10通り、要素が10になると45通り、要素が100になると4950通りとなります。組み合わせはペアだけではないので、それらを数えていくと2の階乗のペースで可能性は広がっていくこととなります。ここで大事なことは異質の要素が集積しているということです。

京都・大阪・奈良の連結点に学研都市として整備されてきた、ここ「京阪奈」は、歴史や文化において特色ある三都を背景に、イノベーションに結実する可能性のある、様々な要素の宝庫です。

本学は、最先端の農業・農学に関する知識と技術を習得した将来の農業を担う人材を育成することを目的として、現在大阪府の高槻市にある大学院農学研究科附属農場を、京都府木津川市の木津中央地区に移転し、平成28年4月より新農場で教育・研究を開始する予定で準備を進めています。学研都市において先進的な農業生産施設と設備を備えた本学の拠点をつくるのが、京阪奈において関東に並ぶイノベーション創出の中核を作りだすことに貢献し、自由な発想にもとづき、世界を変える新結合を次々と生み出す重要な要素となることを大いに願っています。

第7回

けいはんなビジネスメッセ 開催

2012年7月19日(木)けいはんなプラザにおきまして、けいはんなビジネスメッセを開催しました。当日は、1,100名を超える来場者を迎え、成功裏に終わりました。

今年は、7月27日に放映されたKBS京都のKyo:BiZという番組の中で、けいはんなビジネスメッセが取り上げられました。当日の取材をもとに出展企業6社が約15分にわたって紹介され、けいはんなの活力あるベンチャー企業に対して大きな期待を持たれていました。

▶▶ ビジスマッチング展



企業や大学、機関による106のブースを「環境・エネルギー」「ものづくり・ICT」「健康・福祉」「光・医療」「関連融合」分野に分けて設置しました。北側エントランスを入ったところでは、3台のEVを展示し、来場の方の興味を引いていました。

北側エントランスを入ったところでは、3台のEVを展示し、来場の方の興味を引いていました。



▶▶ 企業プレゼンテーション

出展企業(大学)9社によるプレゼンテーションでは、熱心に聞き入る聴講者の姿を目にしました。



▶▶ けいはんなグリーンイノベーションフォーラム

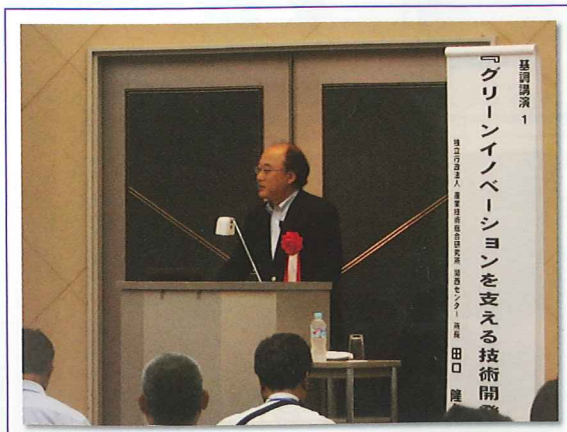
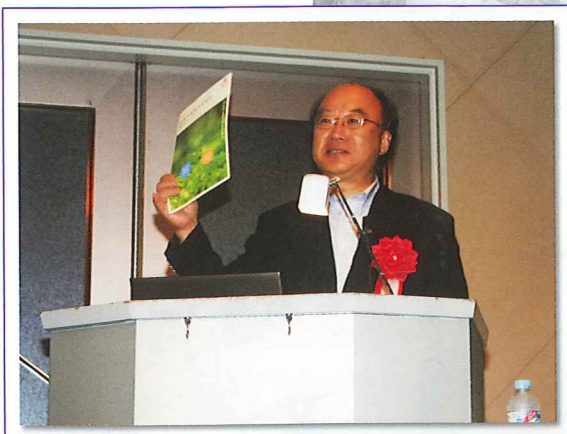
7回目の開催となる今年は、基調講演を「けいはんなグリーンイノベーションフォーラム」と称して開催しました。

ご来賓を代表して近畿経済産業局地域経済部次長の森口悦光様にご挨拶いただき、現在経済産業省が推進している産業振興策の概要とけいはんな学研都市に対する期待についてお話がありました。



基調講演1では、産業技術総合研究所関西センター所長の田口隆久様から「グリーンイノベーションを支える技術開発」と題して、省エネ社会への貢献が期待される蓄電池や燃料電池技術、先進材料開発状況などについて最先端の開発状況をご講演いただきとともに、最新技術をどう事業化へつなげていくかについて数々のヒントをいただきました。

さらに基調講演2として、パナソニック株式会社エナジーソリューション開発センターの花房寛様から「パナソニックが提案するスマートエナジーシステム」と題して、同社が推進中の創エネ・蓄エネ・省エネの大規模実証実験についてご発表いただき、新しいビジネスモデル構築に向けての考え方やポイントについて示唆をいただきました。



奈良県立医科大学

～「夢」、「喜び」そして
「やりがい(学びがい、働きがい)」～

本学は太平洋戦争末期の昭和20年(1945年)4月に奈良県立医学専門学校として、ここ大和橿原に設立されました。8月15日には長きにわたった戦争は終結し、爾来60余年、本学は戦後の日本の歩みと共に成長、発展してまいりました。

今日、我が国はかつて経験したことのない少子・超高齢社会に突入しており、さらに温暖化によるこの地球環境は大きな先行不安をはらんでいます。本学の歩みも、また、決して平坦な道程であったとは言えません。昭和23年には県立医科大学に昇格した後も、大学存廃に関わる重大な危機に何度も遭遇して参りました。その都度、大学、同窓会、そして、県は力を合わせてその難局を乗り越え、今日に至っています。



本学はこれまで、医学部医学科のみの単科医科大学として発展してまいりましたが、平成16年には4年制の看護学科を新設し、1学部2学科の医科大学として、更に発展を続けています。また、平成19年4月には公立大学法人奈良県立医科大学となりました。県立としての歴史と伝統を継承しつつ、法人としての経営手法を新しく導入し、公と私を融合した新しい大学形態として再出発したところです。

本学の理念は「医学、看護学およびこれらの関連領域で活躍できる人材を育成するとともに、国際的に通用する高度の研究と医療を通じて、医学及び看護学の発展を図り、地域社会さらには広く人類の福祉に寄与すること」です。これは国内外の共同研究並びに産学官連携を通して医療をはじめとする産業への貢献を意味しています。これを具現化する体制として平成23年には産学官連携推進センターが整備されました。そして、研究シーズ集の刊行や同センターへの専任教員の配置を行い、本学の産学官連携を推進しているところです。本学の教職員・研究者の努力により生み出された貴重な研究成果を

単に論文発表による社会還元にとどまることなく、産業に利用可能な成果を保護・活用して社会に貢献できるようにこの産学官連携推進センターを機能させていきたいと考えています。

私共は、「夢」、「喜び」そして「やりがい(学びがい、働きがい)」の3Yをキーワードに、常に志を高く持ち、県民、国民の負託に応えうる新しい奈良県立医科大学の発展を目指してまいります。



開館10周年記念イベントがスタートしました —国立国会図書館関西館—

国立国会図書館関西館は、平成14年にけいはんな学研都市(精華・西木津地区)にオープンし、今年10月で開館10周年を迎えます。

国立国会図書館は、関西館のほか東京本館(東京・永田町)、国際子ども図書館(東京・上野)、中央省庁などに置かれる支部図書館で構成されています。このうち、関西館は、増え続ける出版物を収める大規模な収蔵施設として、また、電子図書館事業に代表される新しいサービスの拠点として設立されました。関西館は、博士論文、規格、科学技術関係のレポート類のほか、中国、韓国から中東・北アフリカまでアジア各地の言語で書かれた資料など、東京本館にはないコレクションも所蔵しています。

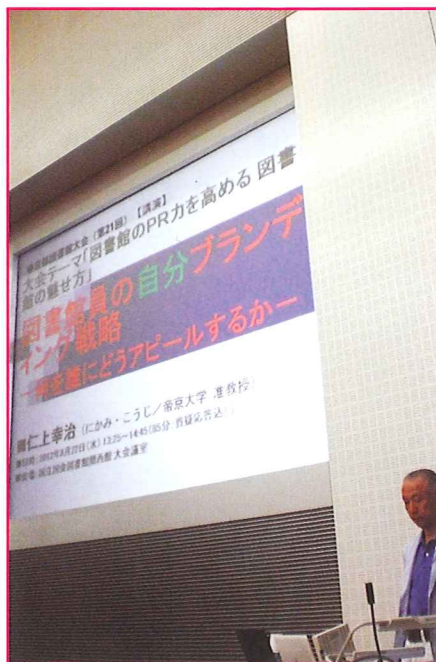
このような設立の目的や特色あるコレクションをより多くの方に知っていただくため、関西館では、11月まで様々な記念イベントを開催しています。ここでは、京都府内の図書館や(公財)関西文化学術研究都市推進機構、学研都市内の大学と共催したイベントの様子をご紹介します。

○開館10周年記念イベント

第21回京都図書館大会(8月22日)

京都図書館大会は、主に京都府内の図書館関係者の研修・交流の場として、例年、京都市内で開催されています。開館10周年記念イベントの第一弾として、今年は大会を関西館で開催しました。大会テーマを「図書館のPR力を高める 図書館の見せ方」とし、多くの図書館が苦心している広報の問題を取り上げました。基調講演「図書館員の自分ブランディング戦略」(仁上幸治・帝京大学総合教育センター准教授)では、図書館スタッフ自らが発信力を高めるためのノウハウが紹介されました。参加した図書館からは、図書館での展示会の開催(大阪芸術大学図書館)、絵本の人気キャラクター・パーバパパを活用した広報(精華町立図書館)、学生を巻き込んだ利用促進活動(東宇治高校図書館)など、集客の成功事例が報告されました。関西館からも議会図書室を例に、小規模図書館向けの広報研修について説明しました。

大会には、関西全域だけでなく東京、愛知、広島などから、



例年のおよそ二倍に当たる228名の参加があり、会場では活発な意見交換が行われました。また、巨大な地下書庫など、日頃は見られないスポットを巡る関西館見学ツアーも好評でした。魅力ある大会作りに向けて行った様々な工夫や地道な広報活動が実り、大会そのものが図書館PRの成功事例になりました。

○開館10周年記念イベント

6大学連携市民公開講座2012

けいはんな学研都市にある6つの大学(奈良先端科学技術大学院大学、同志社大学、同志社女子大学、大阪電気通信大学、関西外国語大学、大阪国際大学)と(公財)関西文化学術研究都市推進機構は、秋に共同で市民向けの公開講座を開催しています。この講座では、ロボット科学、考古学、法律学、アロマセラピーなど、各大学の多様な研究分野から最新の成果がわかりやすく紹介されることから、毎年、人気を集めています。



平成12年から続くこの講座を、今年は開館10周年を記念して関西館で開催しました。受講生が講座内容をより深く理解できるよう、講座に関連する図書を展示したり、関西館の専門スタッフと講師のクロストークの時間を設けるなど、「関西館ならではの」試みも行いました。

第1回(9月7日)は、同志社大学文化情報学部・鄭躍軍教授の「データから東アジアのゆくえを読む」でスタートしました。鄭教授からは、国家意識、家庭観、理想のリーダー像などに関する調査結果をもとに、日中韓三か国の国民の価値観の違いについて解説が行われました。関西館職員とのクロストークでは、三か国の相互理解を促すためのポイントなどが話し合われ、会場からも熱心な質問が寄せられました。続く「身近なマーケティング—日常生活の中から考える—」(大阪国際大学ビジネス学部・石井康夫教授)もわかりやすい解説が好評でした。当日は例年を大幅に上回る参加がありました。

第2回(9月14日)は、「料理上達のカギ—計測技術の視点から—」(大阪電気通信大学 新川拓也教授)、「シルクロードの芸能—新疆ウイグルのムカム—」(関西外国語大学 鶴島三壽准教授)、第3回(9月21日)は、「図書館から情報館へ—電子図書館の将来像—」(奈良先端科学技術大学院大学 藤川和利教授)、「菅原道真と百人一首—「このたびは」歌をめぐる—」(同志社女子大学 吉海直人教授)という講演内容で、多くの方に受講いただきました。

開館10周年記念イベントでは、様々な角度から関西館の魅力を紹介しています。どの企画にも知的好奇心を満たす発見があると思いますので、ぜひお問い合わせの上、ご参加下さい。

❑ 関西館開館10周年記念行事・今後の予定 ❑

① 展示会

- 10月1日(月)～31日(水) 「関西の図書館100年、関西館の10年」
- 10月18日(木)～11月20日(火) 「時空をかける三国志」

② 講演会

- 10月6日(土) 「私の図書館巡歴と関西館—史料に導かれた連鎖視点への歩み」
(山室信一—京都大学人文科学研究所教授)
- 10月19日(金) 「私のめざす公共建築—国立国会図書館関西館、森鷗外記念館の経験を経て」
(陶器二三雄—(株)陶器二三雄建築研究所代表)

③ シンポジウム

- 11月9日(金) 「図書館サービスとe戦略」

④ 関西館見学デー

- 11月18日(日) 関西館見学デー

※詳しくは国立国会図書館HP(http://www.ndl.go.jp/jp/service/kansai/about/10th_anniversary.html)をご覧ください。



さまざまな分野の
方々と意見交換しながら
気候変動問題に
取り組んでいます。

長島 美由紀 研究員インタビュー

今回、「知の発信」にご登場いただく方は、以前、**はいほんな View** アンケートで頂戴した「色々な研究員さんのお話を聞きたい」という声にお応えして、**(公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE) システム研究グループ**の長島 美由紀主任研究員です。

(公財)地球環境産業技術研究機構 (RITE)
システム研究グループ主任研究員 博士(環境経済学)
東京大学政策ビジョン研究センター 客員研究員

長島 美由紀 氏

2011年大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程修了(修士号取得)。
2010年オランダ Wageningen 大学環境経済・資源グループ博士課程修了(博士号取得)。
現在 地球温暖化対策技術の分析・評価、国際環境協定の応用ゲーム理論分析及びエネルギー・環境分野における技術移転と国際競争力の研究に従事

◆専門である「環境経済学」を研究されるきっかけをお聞かせください。

大学時代に環境・開発NGOで活動し、環境問題に興味を持ちました。大学4年の時には、NGOの活動の一環でアジアスタディーツアーに参加し、フィリピンやマレーシアで現地の人々と環境問題や貧困問題について議論をしたのですが、いざ自分には何ができるのかということ考えた時に、自分には専門性がなく、また社会人として働いた経験がないので社会システムというものを十分に理解していないのに、有益な助言ができるのかどうか疑問に思いました。そこで、卒業後民間企業等で社会経験を積みながら、修士号と博士号を取得しました。その時、環境問題を研究するにも法学や政治学などさまざまな分野がありますが、大学時代から経済学に興味があったので、環境経済学について学ぼうと思いました。

◆長島さんは元々文系ですが、RITEには理系の研究者の方が多く聞いています。ご苦労された点があればお聞かせください。

気候変動問題というものは非常に複雑な分野であり、文理融合、学際的な研究が必要です。入所当初は、理系(工学)の言語(専門用語)がわからなかったり、研究発表を聞いても理解するのに相当な時間がかかりました。また、経済学についても誤解されている部分があると感じました。一方で、違うアプローチであっても、目指しているものが一緒であったり、違う言葉で言っているけど同じことを示していたりと、共通点も多いことに気がきました。議論する時には、お互いの分野の言語やアプローチを十分理解していないと、より良

い議論ができずに誤解したままで終わってしまう恐れがあると痛感しています。国内外において、このような学際的な研究ができる環境はそう多くはないので、研究環境には恵まれていると思います。

◆以前オランダに留学されていましたが、オランダは気候変動対策の取り組みが進んでいると聞いたことがあります。日本と比べるとやはり進んでいると感じられましたか?

気候変動対応策には大きく2つあります。一つ目は温室効果ガスを削減することにより温室効果ガスの濃度レベルを安定化させる緩和策であり、二つ目は、実際に気候変動が起こってしまったときに、その変化に対応する策を講じる適応策です。オランダの緩和策については様々なものがありますが、例えば自動車など環境負荷の高い交通手段から環境負荷の無い自転車などの交通手段に移行させるためのインフラが整備されていますし、自転車通勤を奨励するための企業への優遇税制度などがあります。また、食堂などで食べ残しを見たことがなく、ゴミが少ないと感じました。

また、オランダは国土の4分の1が海拔0メートル以下にあり、気候変動による海面上昇に非常にセンシティブになっており、洪水防御などの適応策に積極的に取り組んでいます。

◆2009年から1年間、国連の気候変動枠組条約事務局(ボン、ドイツ)に勤務されていましたが、その時の経験が現在の研究に活かされている点があればお聞かせください。

国連では適応・技術・科学プログラムの手法・分析サブプログラムに所属し、気候変動問題に関する科学的知見をまとめたり、国際交渉の決議文書草稿のサポートを担当しま

した。

国際交渉を経験して、様々な点で学ぶことが多かったです。その中でも特に単語・文言の選び方に非常に注意深くなったと思います。国連の国際交渉では、気候変動問題に関する決議文書を一字一句作成していきます。ある国にとってはある単語・語句を入れることが重要であるとしても、一方で別の国にとってはその単語・語句を入れると自国に不利益を与えてしまう場合もあります。まさに国益を重視する国家間の駆け引きです。最終決議文書に至るまでの過程や各国の事情、歴史的背景といったものを十分に理解していないと、最終決議文書の本来の意味を十分に把握することができません。

例えば、合意文書の中で、「締約国は以下の項目に合意 (agree)する」と「締約国は以下の項目 (の重要性)を認識する (recognize)」とするのでは、意味が大きく異なります。論文を書く上でも、適切な語句・単語の選択には非常に注意を払うようになりました。

◆「脱地球温暖化と持続可能な発展に関する研究 (ALPSプロジェクト)」において気候変動緩和のシナリオ策定に取り組みましたが、どのような研究内容でしょうか？

システム研究グループでは、国内外において気候変動への対応策に関する体系的な分析を行い、研究成果を社会にわかりやすく提供することによって、社会が良い意思決定ができるようにすることを目指しています。平成19～23年度に実施したALPSプロジェクトでは、気候変動の問題を持続的発展社会の実現という、大きな枠組みで捉えた総合的なシナリオ策定を行い、実効性のある対応策を提示しました。

◆昨年の東日本大震災以降、日本においては二酸化炭素の排出問題が棚上げされているように感じのですが、それによって、シナリオが大きく変わることはないのでしょうか？

リーマンショック後、財政悪化、雇用問題、途上国の貧困問題など各国それぞれが抱えている課題があり、その中で優先順位を付けているのが現状です。日本では震災後にエネルギー安定供給や財政再建が優先されていますが、バランスを取って気候変動問題について取り組んでいく必要があるということは言うまでもなく、政府もそういった認識で取り組んでいると思います。また、気候変動問題は長期に亘る問題であるので、我々が実施している体系的な研究では、直近の状況を考慮しながら、将来起こり得る様々

なシナリオを想定して、社会、環境変化の不確実性に対応できるように、また、最善のシナリオに近づけていくための対策を分析しています。

◆気候変動対策の研究では、どこまで考慮し、想定するかが非常に難しいと感じたのですが、決め手となるものは何なのでしょう？

従来の気候変動対策に関する分析は、社会・個人の多様性の大部分を捨象してしまうため、実態との乖離をもたらしてしまう恐れがあります。そのため、ALPSプロジェクトの研究では、社会は多様で多目的であることを前提とし、それを出来る限り定量的に描き、持続可能な発展につながる良い意思決定ができるように、科学的知見を提供してきました。

社会が非常に複雑でいろいろな項目がある中で、気候変動問題及び持続可能な発展に関連する重要な要素を選ぶということも決め手となると思います。他の分野の方々との研究交流を通じて、様々な知見を反映させて、研究していくことが重要であると思います。

◆研究されていて、苦勞されていることがあればお聞かせください？

苦勞している点は、温暖化をはじめ様々な分野で重要性を増しつつある途上国のデータがあまり利用可能ではないということです。あったとしてもそれが信頼できるものかどうか判断しなければなりません。

それから、政策研究をしているので、学会での発表だけではなく、多くのステークホルダー (政策立案者、産業界、市民等)の方々にもわかりやすく説明するということがいつも課題です。

◆けいはんな学研都市に勤務されていて、よかったと思われること、期待されることがあればお聞かせください。

よかったことは、国立国会図書館が近くにあることです。購読していない学術ジャーナルなどが閲覧できるので、研究者にとっては非常にありがたいです。

期待することは、けいはんな学研都市内に保育園や託児所があれば、と思います。理想を言うなら、けいはんな地区の中でけいはんなに勤めている人が利用しやすい施設があれば、非常に助かる研究員の方がおられるのではないのでしょうか。少し難しい問題だと思いますが、実現できればいいですね。

<取材後記>

- 今号から「けいはんなView」を担当することになり、その最初の取材が今回のインタビューでした。無知ゆえに怒らせはしないかとドキドキでしたが、非常に優しく、わかりやすく対応して頂きました。
- 気候変動対策と経済成長。両立するのは非常に難しい問題ですが、政府が最善の対策を選択するように、私たちもしっかり考え、取り組んでいかなければならないと改めて感じました。

(以上)

Topics 1

関西文化学術研究都市建設推進に向けた要望活動

関西文化学術研究都市建設推進協議会(会長:森詳介関西経済連合会会長)では、政府の予算編成において、けいはんな学研都市の建設促進や産業振興を求め、毎年国に対し要望活動を行っています。今年は、6月26日(火)に民主党京都府総支部連合会を通じて、平成25年度政府予算に関する要望書を国に提出いたしました。

このたび、7月26日(木)に、森会長を筆頭とする代表委員が、関係省庁等を訪問のうえ要望書を手渡し、予算の重点的配分や規制緩和等の政策実現を求め意見交換を行いましたので、お知らせいたします。

関西文化学術研究都市建設推進に向けて <<重点要望事項 平成24年7月>>

① 特区制度を活用したスマートコミュニティオープンイノベーション拠点の整備促進 (内閣官房・内閣府・文部科学省・厚生労働省・経済産業省・環境省)

スマートコミュニティ分野の国際的な共同研究・開発拠点を形成できるよう、国としても戦略的なプロジェクトに位置づけ、重点的な支援をお願いします。

また、スマートコミュニティの形成等による国際共同研究・事業化を行うオープンイノベーション拠点整備のため、旧「私のしごと館」の無償譲渡をはじめ、共同研究や施設整備、事業化への取り組みに対する支援をお願いします。

② 持続可能なモデル都市づくりの推進(経済産業省)

本年6月の経済産業省での行政事業レビューにおいて抜本的改善が必要と評価された「次世代エネルギー・社会システム実証プロジェクト」に関し、本都市では電力ピークカットや成果の事業化に向けた取り組みを積極的に進めておりますので、継続的な支援をお願いするとともに、EV普及促進補助など関連予算の拡充や、マネジメントシステム導入支援のための新たな補助制度の創設等をお願いします。

③ 都市建設の促進(国土交通省)

道路ならびに鉄道の整備等について、特段のご配慮をお願いします。

- 学研都市連絡道路(国道163号)、木津中央地区アクセス道路、京奈和自動車道、新名神高速道路の整備推進
- 京阪奈新線の延伸、JR奈良線・学研都市線の複線化・高速化
- リニア中央新幹線の東京・大阪間の早期の全線同時開業
- 我が国の先進研究を推進する科学と文化の拠点形成に資する調査の継続実施

④ 学術・研究開発機能の活用・高度化(文部科学省・総務省・経済産業省)

学術・研究開発機能の活用・高度化を図るとともに、本都市の先端的研究活動を一層推進するため、都市内立地施設に対し、格別の御高配を賜りますようお願いいたします。

- 日本原子力研究開発機構関西光科学研究所 「きつづ光科学館ふおとんの存続」
- 京都大学大学院農学研究科 「附属農場の木津中央地区への移転」
- 情報通信研究機構(NICT)、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、奈良先端科学技術大学院大学(NAIST)、地球環境産業技術研究機構(RITE)

⑤ 本都市における税制上の優遇措置の延長及び不均一課税に伴う減収補填措置の復活(総務省・財務省・国土交通省)

文化学術研究施設等の立地を促進し、十分な都市形成を図るため、適用期限が平成25年3月31日となっている国税の税制上の優遇措置(法人税特別償却)適用期限を2年間延長するとともに、地方税の特例措置及び不均一課税に伴う減収補填措置の復活をお願いします。

⑥けいはんな学研都市ヘルスケア開発地域に対する支援(文部科学省・経済産業省)

本都市およびその周辺地域におけるヘルスケアシステムの開発を進めるため、地域イノベーション戦略支援プログラム及び事業化に対する総合的な支援をお願いします。

⑦「けいはんな地域広域基本計画」に基づく産業集積事業への支援(経済産業省)

「環境・エネルギー」「アグリバイオ」「組込みソフト」分野の新産業創出、産業集積を促進する事業及び人材養成事業に対して、継続的な資金補助をお願いします。



民主党 京都府連議員団(北神議員、小原議員)



総務省 森田高大臣政務官



厚生労働省 小野晃職業能力開発局長



内閣官房 和泉洋一地域活性化統合事務局長



文部科学省 奥村展三副大臣



経済産業省 北神圭朗大臣政務官



国土交通省 吉田おさむ副大臣

建設推進協議会代表委員(今回の参加者)

- 森 詳介(関西経済連合会会長)
- 山田 啓二(京都府知事)・山内 修一(京都府副知事)
- 木村 慎作(大阪府副知事)
- 中山 悟(奈良県地域振興部長)
- 西田 賢治(大阪商工会議所常務理事)
- 西口 廣宗(奈良商工会議所会頭)
- 柏原 康夫(関西文化学術研究都市推進機構理事長)



有限会社 アップル・ワイズ

代表取締役 針原 雄四郎 氏

〒619-1127
京都府木津川市南加茂台12-16-2
TEL:0774-76-4708 FAX:0774-76-4197
URL:http://applewise.co.jp/

【試作工場】 けいはんなプラザ・ラボ棟4F

2003年12月11日に発足し、2004年3月1日に設立した有限会社アップル・ワイズは、パソコン・インターネット技術を核としたe-ラーニングビジネスを事業内容としているうちに、偶然グリーンエコ関連事業も手掛けることになった。

今回は、まず「古都呼吸」という商品のお話をうかがった。それは、Bio-T(京都生まれのEco消臭剤=京都北山杉の樹皮<廃材をリサイクル>から抽出した環境配慮型消臭剤)に、天然アロマオイルで香りをつけた消臭剤である。

Bio-Tの原料は北山杉の樹皮である。木肌の美しい磨丸太を製造する過程で排出される樹皮を再利用し(これまで、樹皮は産業廃棄物として焼却処分され、CO2を排出していた。)化学合成物質を一切使わずに、京都北山丸太生産協同組合から譲り受けた樹皮を煮込み、天然ポリフェノール類を抽出して作ったものである。(製造の一部は特許を取得。)

多くの消臭剤が、化学品の合成や大豆、トウモロコシなどの食料から製造している中で、使い道のなかった北山杉の樹皮を有効活用し、リサイクルしながら安全で強力な消臭を実現した。そして、そのエコロジー性と有用性を認められ、京都産業エコ推進機構(現在は、京都産業エコ・エネルギー推進機構)により、エコ・グリーン商品として2009年度「京都エコスタイル製品」の認定を授与された製品でもある。

Bio-Tの効能を活かし、まず北山杉の持つ強い消臭力で悪臭を消してから(悪臭成分と結び

ついて臭わない別の成分に変える吸着中和という方法で消臭し、悪臭は消すが良い香りは消さないというのが特徴。)芳香を漂よわせる。そのため、混じり気のないアロマオイルの自然な香りを楽しむことができる商品である。

針原社長は、ふとしたきっかけでBio-T特許

●● COTO COCUE 古都呼吸



左からカモミール(和名は、かみつれ)、フランキンセンス(和名は、乳香)、ゼラニウム(和名は、天竺葵(てんじくあおい))、ラベンダー(和名は、らわんでる)、ティーツリー(和名は、ふと桃)の5種類に、左写真のペパーミント(和名は、はっか)を加えた6種類がある。

各50ml、各1,200円(税込)

※このボトルに詰替可能な150mlボトルもある。

各150ml、各1,200円(税込)

※現在こちらの商品が購入できるのは、高島屋京都店、京都デザインハウス、INOBUNイノブン四条本店、INOBUNイノブン北山店、INOBUNイノブン高の原店、INOBUN天満橋店、神戸大丸店、etc…。

●● 爽快(そうかい)



抗菌消臭剤ガンスプレータイプ
250ml、1,733円(税込)

Bio-Tに微量のフィトンチッド(フィトンチッド<phytoncide>とは、微生物の活動を抑制する作用を持つ、樹木などが発散する化学物質。植物が傷つけられた際に放出し、殺菌力を持つ揮発性物質)を加えたもの。Bio-Tが持つ4大悪臭(=①アンモニア:トイレ・尿のにおい ②酢酸消臭:汗のにおい ③トリメチルアミン:腐った魚のにおい ④メチルメルカプタン:腐ったタマネギのにおい)の消臭力にプラスして、汗、タバコ、アンモニアなどの生活臭に対する消臭に向いている。

無色透明の液体で、消臭液自体にはほとんど匂いも無く、肌刺激性試験もクリアしているので、お子様やペットのいる家庭でも安心して使える。ルームスプレーやペットの消臭などにお薦めだそう。

※現在こちらの商品を使用されているのは、ウェスティン都ホテル京都、新阪急ホテル京都、京都ライトハウス 船岡寮、etc…。
※他にも、ホルムアルデヒド(シックハウスの原因物質)消臭に特化した消臭剤Bio-T(H)は、特注品で受注してくれるそう。
詳しい実験結果は会社HPを参照。

所有者、中坪康文氏と知り合い、共同で事業展開をする契約を交わし現在に至っている。

また、OEM(発注元企業のブランドで販売される製品を製造すること。また、そのようなメーカー。)展開で、通販のフェリシモさまからフェリシモブランドのアロマ消臭剤の受注を受けたそう。

針原社長は、「販路を広げるのが難しい。例えば商品が良くても、あるいは広告にお金をかければ売れるというものではない。マーケティング理論に基づく“売るセンス”というものが重要である。

今後の商品展開も色々と考えてはいるが、商品化するのがなかなか難しい。OEMでやって

いくのも一種の手法かな?とは思いますが。

後は、いろんな方に、お知恵&アドバイスをもらえるのは大変有難いことです。」と語られた。

なお、針原社長の経営理念をお聞きすると、

●志において高貴、人において愚直。

…だそうで、それは、「企業経営において、志を高く持つことは勿論ですが、それは高貴な志でなければなりません。高貴とは、社会のためになることと理解しています。また、高貴な志を遂行する経営活動は、愚直な努力の積み重ねであると理解しています。」と、照れ臭そうに語られたところから、社長のお人柄が垣間見えたような気がした。

●● 芳香消臭脱臭剤協議会におけるそれぞれの定義は以下の通りである。

- 消臭剤= 臭気を科学的作用または感覚的作用等で除去または緩和するもの
- 脱臭剤= 臭気を物理的作用等で除去または緩和するもの
- 防臭剤= 他の物質を添加して臭気の発生や発散を防ぐもの
- 芳香剤= 空間に芳香を付与するもの



Topics 2

けいはんなふれあいコンサート2012 開催



<コンサート全体の様子>

平成24年7月26日(木)、けいはんなプラザ・メインホールで、「けいはんなふれあいコンサート2012」を開催しました。

「けいはんなふれあいコンサート」は、地元の自治体や社会福祉法人、学校法人、NPO法人などが協働して実行委員会形式で開催しており、今年で8回目を数えます。今年は指揮に関谷弘志氏、司会に福山俊朗氏をお迎えし、演奏は関西一流の京都市交響楽団のフルオーケストラ。このコンサートの魅力は何といても年齢制限がないこと。

保育サポートも充実し、0歳児から入場可能となっています。クラシックからポップスまで、どこかで聞き覚えのある曲が演奏され、親子で楽しむ光景が見られました。

また、「みんなで演奏してみよう!!」、「指揮者にチャレンジ!!」、「みんなで歌おう!!」と、参加型のプログラムが盛りだくさん。手拍子をとったり、サンドペーパー(紙やすり)をこすって音を出したり、指揮者の体験をしたりと子どもたちが楽しく参加する姿が見られました。最後は演奏に合わせて一緒に歌い、会場が一つになって大いに盛り上がり、成功裡に幕を閉じました。



<指揮者にチャレンジ!!の様子>



<打楽器演奏体験コーナーの様子>

また、開演前に開催されるロビーイベントが子どもたちに大人気。今回は「打楽器演奏体験コーナー」と「マジックショー with ハープ」が大盛況でした。打楽器演奏体験コーナーでは、トライアングルやマラカスなど馴染みの楽器もあれば、棒でこすって音を出すギロや雨の擬音が出るレインメーカーのような普段目にしないものもあり、子どもたちは興味津々な様子で楽器を手にしていました。司会の福山俊朗氏によるマジックショーは、ハープの音色に合わせて行われ、大きな歓声が上がっていました。このロビーイベントは例年開催していますが、開場待ちの大行列ができるほどの人気となっています。

短い時間ではありましたが、音楽に触れ合う良い機会として夏休みの思い出の1ページに加えていただけたものと思います。

学研都市発の親子で楽しめるクラシックコンサートの定番として、「けいはんなふれあいコンサート」を引き続きご支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。

Topics 3

650回突破記念! 「プチコンサート・スペシャル ～夏休みの贈り物～」開催

平成24年8月1日(水)けいはんなプラザ・アトリウムロビーで、650回突破記念! 「プチコンサート・スペシャル ～夏休みの贈り物～」を開催しました。

(公財)関西文化学術研究都市推進機構などで構成している「けいはんなプラザ・プチコンサート実行委員会」では、けいはんな学研都市の文化の賑わい創出と、次代を担う若手音楽家の育成を目的に「けいはんなプラザ・プチコンサート」をけいはんなプラザにて平成10年11月より毎週水曜日に開催し、本年7月で650回を数えています。



<コンサート全体の様子>

出演者はホームページ等で公募、同プラザ・アトリウムロビーで入場料無料・予約不要で開催しています。間近で演奏を聴けるのを楽しみに年間5,000人を超える聴衆にお楽しみいただき、出演者からも「演奏経験が積める」と再出演の希望が多く来ています。

650回突破を記念し開催した「プチコンサート・スペシャル ～夏休みの贈り物～」では、ピアニストとして活躍が著しい「塩見 亮(しおみ たすく)」さんの演奏により、皆様がよく聴いたことのある音楽からピアノコンサートとして聴きごたえのある音楽まで幅広く演奏、また賛助出演の「日比野 峰子(ひびの みねこ)」さんと共に室内楽の魅力も味わえる曲目も演奏、250名の聴衆に楽しんでいただきました。



塩見 亮氏、日比野 峰子氏

このたびはコンサートの機会をくださり、ありがとうございました。けいはんなプラザは初めて伺う場所でしたが、たくさんのお客様と、皆さんのあたたかい雰囲気の中で楽しいコンサートとなりました。

650回もコンサートが続いているということは、クラシックを聴きなれている人やそうでない人が音楽に触れあう場として、また、音楽を通じて地域の方々が交流しあえる場としての役割を果たしているからこそだと思います。本当に素晴らしいことです。

これからも永く、この素敵なコンサートが続けていただいて、またいつか、演奏させていただければ嬉しいです。

本当にありがとうございました!!

プチコンサート・コーディネータ 溝田 薫氏

けいはんなプラザ・コンサートは、毎週水曜日に開催しており、毎週このコンサートを楽しみに来てくださる方々も多く、おかげさまで、先日650回を迎えることが出来ました。

このようなお昼のひと時を、音楽と共に楽しんでいただき、また、演奏者も、お客様の温かい拍手で貴重な演奏の機会をいただいています。今後も、このようなコンサートが続くよう、コーディネータの立場からも支えられればと思っております。今後とも、皆様のご支援ご声援、宜しくお願いいたします。

プチコンサート・コーディネータ 中井 香菜子氏

毎週水曜日に開催されているけいはんなプラザ・コンサートは、先日650回記念コンサートを行いました。650回もコンサートが続けて開催できたこと、皆様に感謝いたしております。

演奏家としての立場からも定期的に演奏できる場があるということは励みになります若い演奏家にとっては有難い場所となっています。これからも末長く続けられますよう何卒宜しくお願いいたします。

プチコンサート事務局 坪佐 晃幸氏

コンサート事務局担当という過去に経験したことない業務を初めて担当しましたが、平成21年より3年間、コーディネーターや同僚、皆様のご支援によりこれまでやってこれました。事務局では学研都市の中核的交流施設

「けいはんなプラザ」での定例コンサートをはじめ、学研高山地区「高山サイエンスプラザ」(奈良県生駒市)や学研京都府域の京田辺市・木津川市・精華町でも出張プチコンサートを開催しています。会場へ足をお運び、若手音楽家の演奏をお楽しみください!

坪佐 晃幸氏 / 溝田 薫氏 / 中井 香菜子氏

Topics 4

サード・ステージ推進会議 第7回総会 開催

7月12日(木)、けいはんなプラザ(3階ナイル)において、けいはんな学研都市サード・ステージ推進会議の第7回総会(座長:当推進機構理事長 柏原康夫)を開催しました。

公益財団法人先端医療振興財団理事長の井村顧問をはじめ、学識経験者、国土交通省、関係自治体、関西経済連合会、本都市に立地の大学・研究機関・企業、関係諸団体等の委員ご出席のもと、

- 推進機構から、学研都市の近況及びサード・ステージ・プランの取組状況
- 京都府から、「旧私のしごと館」をスマートコミュニティの形成等に係る国際共同研究・事業化を行うオープンイノベーション拠点として再整備することなど、昨年12月に指定を受けた国際戦略総合特区の動き
- 都市内に立地する機関を代表して、国際電気通信基礎技術研究所(ATR)、地球環境産業技術研究機構(RITE)から、最新の活動について報告を行い、



- 学研都市の発展のために、「けいはんなエコシティ」や「総合特区」などの取組みを最大限活用することの必要性
- けいはんなエコシティについて、多くの住民の参画を得て実証を行うことの意義、エネルギー政策にも寄与する取組みの重要性
- 旧私のしごと館でのオープンイノベーション拠点整備は、関西学研を支えていく中核の施設として、関西の経済界、官界上げてオール関西として取組み、学研都市の位置づけを更に強烈に打ち出していくことの必要性
- 学研都市に優れた研究者が来て頂くために知恵を結集し努力することの必要性
- 関空へのアクセスや、国道163号など学研都市内の交通利便性の向上の必要性などについて意見が出され、今後もサード・ステージ・プランに掲げた取組みを進めることになりました。

Topics 5

第45回けいはんなサイエンスカフェin精華 西木津を開催

9月6日(木)、けいはんなプラザラボ棟2階天の川において、第45回けいはんなサイエンスカフェを開催しました。ゲストスピーカーにApex IP Company CEOの中村 公一氏をお迎えして、「特許と友達になろう!「味方につけると頼もしい、敵に回すと恐ろしいのが特許君」」をテーマに、事例に基づいたご講演をいただきました。第1部の講演会終了後、第2部の交流懇談会は和やかな雰囲気の中で行われ、講師と参加者、参加者同士の交流が深まるものとなりました。

サイエンスカフェの内容

- 事例研究1
切り餅戦争
- 事例研究2
無線LANで標準的に使われている技術
- 特許君とどう付き合うか?
- 知財専門家・知財支援窓口とどう付き合うか?
- けいはんな知財組合(仮称)のご提案



Topics 6

けいはんな地域グリーンイノベーション成長産業振興・発展対策支援事業 けいはんな植物工場ネットワーク会議

2012年7月6日(金)、本年度第1回目のけいはんな植物工場ネットワーク会議を開催しました。

第1部では本会のアドバイザーをお願いしている先生方から、国内外における植物工場の最新動向、植物工場野菜の安全・安心を担保するために検討が進められている第三者評価・認証制度、また、生産技術力向上やトレーサビリティを考慮したシステム制御技術などについてご講演をいただきました。

第2部では本ネットワーク会員企業5社から、作物の生育状況をモニタするセンサシステム、植物育成用新素材、省エネ型やコンテナ型の植物工場システムなど、各社の最新の取組状況についてご発表いただき、本格的な事業化に向けて活発な討議が行われました。

第1回けいはんな植物工場ネットワーク会議

日時:2012年7月6日(金) 13:00~17:00 会場:けいはんなプラザ 交流棟5階「黄河」

		内容	発表者
【第1部】 講演			
講演1	13:00 ~13:30	「植物工場をめぐる最近の動向」	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授 寺林 敏 氏
講演2	13:30 ~14:00	「人工光型植物工場の第三者評価・認証制度の概要について」	京都大学大学院農学研究科 農業システム工学分野 教授 清水 浩 氏
講演3	14:00 ~14:30	「計測制御にできること・できないこと」	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 教授 杉本 謙二 氏
休 憩(14:30~14:50)			
【第2部】 「けいはんな植物工場ネットワーク」 会員コーナー(各15分~20分)			
(1)	14:50~15:10	「RGB光量子計測システムとマルチイオンセンサーのご紹介」	大塚アグリテック/株式会社 栽培研究センター 課長 緒方 雅彦 氏
(2)	15:10~15:30	「ネットワーク型家庭用植物工場実証実験の紹介」	パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 参事 藤山 広光 氏
(3)	15:30~15:50	「地熱利用 省エネルギー植物工場の提案」	アルミ応研合同会社 山口 光明 氏
(4)	15:50~16:10	「新植物栽培資材が生み出した「セラミック・プランツ」の活用と新市場」	セラハイト株式会社 代表取締役社長 久世 雄生 氏
(5)	16:10~16:30	「コンテナ植物工場のご紹介」	アグリウェーブ株式会社 取締役 京都研究所所長 足立 雅洋 氏
a)	「けいはんな植物工場ネットワーク会議」今年度計画について		(公財)関西文化学術研究都市推進機構
b)	ネットワーク活動に関する意見交換		



会場風景(1)



会場風景(2)

<今後の「けいはんな植物工場ネットワーク会議」開催のご案内>

- ◇第2回 2012年10月 2日(火) **内容** 千葉大・農研機構実証拠点報告、企業プレゼンなど
- ◇第3回 2012年11月30日(金) **内容** 検討中
- ◇第4回 期日未定 **内容** 検討中

※場所はいずれも けいはんなプラザ 交流棟5F「黄河」です。

Topics 7

第52回けいはんな光・医療産業バレー研究会 開催 —粒子線がん治療技術の最新動向—

2012年7月30日(月)午後、第52回けいはんな光・医療産業バレー研究会を開催しました。

放射線を使ったがん治療技術の進展はめざましいものがあり、放射線の一種である重粒子線を用いたがん治療は、2003年に高度先進医療として承認を受け、特に、手術困難ながんの治療に有効とされ、近年注目されています。

当日は、重粒子線がん治療の最新の話題と、線源にレーザーを用いて装置を大幅に小型・低コスト化しようとする研究開発事例について報告があり、関連技術開発に携わっている研究者を始めとして、行政、医療関係者、がん患者会など多方面からの参加を得て、本治療技術に対する期待や今後の本格的な普及に向けた課題などについて議論がなされました。



第52回けいはんな光・医療産業バレー研究会

粒子線がん治療技術の最新動向

放射線を使ったがん治療技術の進展はめざましいものがあり、近年、放射線の一種である重粒子線ががん細胞に照射して死滅させる治療方法が注目を集めています。
今回は、重粒子線がん治療のバイオニアである(独)放射線医学総合研究所の最新動向と、装置の小型化へ向けた(独)日本原子力研究開発機構の取組状況についてご報告させていただきます。

【開催日】 2012年 7月 30日(月)
【時間】 13:30 ~ 16:00
【場所】 けいはんなプラザ 交流棟5階「黄河」

講演Ⅰ 13:30~14:40

「重粒子線がん治療装置の現状と今後の展開
—HIMACを中心として—」



野田 耕司 氏

独立行政法人 放射線医学総合研究所
重粒子医学センター・物理工学部 部長

講演Ⅱ 14:50~16:00

「レーザー駆動粒子線がん治療実現へ向けた
最近の進捗 —プロジェクト中断から1年—」

近藤 公伯 氏

独立行政法人 日本原子力研究開発機構
量子ビーム応用研究部門 研究主幹 先進ビーム技術研究ユニット長



【お問い合わせ先】

(公財)関西文化学術研究都市推進機構 新産業創出交流センター
〒619-0237 精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟3階
TEL : 0774-98-2240 FAX : 0774-98-2202
E-mail : hikari-valley@keihanna.biz (担当 : 米崎・前田・奈賀尾)
けいはんな光・医療産業バレー研究会 URL : http://keihanna.biz/pm/v



Topics 8

けいはんな地域グリーンイノベーション成長産業人材養成等支援事業 高度複合専門技術人材養成講座

本講座は、平成24年度企業立地促進法補助金事業の一環として、新産業創出に必要な高度組込みソフト人材に加えて、電気・電子・通信・情報工学の高度複合専門技術知識を併せ持つ高度組込みシステムリーディング人材を養成することを目的としています。

8月3日(金)と24日(金)には、夏期講座1を開催し、近年注目を集めている光技術に焦点を当て、その原理から応用までを理解して新製品開発へどう展開するかを学んでいただきました。

9月7日(金)と28日(金)には、夏期講座2を開催し、昨今、注目を集めているLED照明の基本技術から応用・将来展望までを理解して、応用技術・設計能力を高めていただきました。

〈いずれも、けいはんなプラザ交流棟5階・黄河にて開催〉

● 夏期講座1

日時
8/3(金)・8/24(金)
開催

講座タイトル フォトニクスが拓く新産業の可能性
～エネルギー、情報、通信等への応用に向けた光技術講座～

講師 京都大学教授 野田 進 氏



熱弁をふるう野田教授

20世紀が電子を自由に操り電気の時代であったとすると、21世紀は、光を自由自在に操る光の時代だとして、その中心となる「フォトニック結晶」の原理から応用までを講義。



熱心に聞き入る受講者

● 夏期講座2

日時
9/7(金)・9/28(金)
開催

講座タイトル LED照明の実際と将来展望まで

講師 京都大学教授 川上 養一 氏

● 【予告】冬期講座のご案内

日時
11/29(木)・12/13(木)
2013/1/18(金)・1/24(木)
15:00～17:00

場所 けいはんなプラザ 交流棟5階・黄河

講座タイトル 家電やスマートハウスにおける
パワーエレクトロニクスの実際と将来展望まで

講師 大阪大学教授 森 勇介 氏
大阪大学准教授 三浦 友史 氏
大阪工業大学特任教授 大森 英樹 氏

「**宮廷貴族 普賢寺殿 近衛基通**」について

このえもとみち

京都・大阪・奈良の3府県にまたがるけいはんな学研都市には、里山や田園などの豊かな自然とともに、多くの歴史的・文化的遺産が残されています。



近衛基通墓

摂政となり、従一位に進みました。治承5年に清盛が亡くなり平家が急速に衰え、寿永2年（1183年）木曾義仲などの軍は京都に迫ってきました。平家は後白河法皇・安徳天皇を連れての都落ちを画策していましたが、基通はこのことを後白河法皇に密告すると、

今年の大河ドラマは平清盛を主人公にストーリーが展開しています。

京田辺市の普賢寺地区には清盛と深い関わりのある人物で、平安時代末期から鎌倉時代初期の公卿である近衛基通の墓があり、市内の隠れた名所のひとつになっています。

近衛基通は永暦元年（1160年）に、藤原氏直系の近衛家始祖である基実の子として生まれました。6歳の時に父が亡くなると、継母の盛子（清盛の四女）が清盛を頼りに後見役となりました。本来であれば、藤原忠通—基実—基通と摂関家の嫡流が継承されるはずでしたが、幼くして父が亡くなったため基通は官位もなく、摂関の地位は一時期、基実の異母弟に移りました。

10歳で正五位下に叙し、11歳で元服、この頃、清盛の六女完子を正室に迎えています。このように平家を外戚にして、摂関家の継承者の地位を保つことができ、治承3年（1179年）、後白河法皇の院政が停止され、反平家の公卿が一掃されると、20歳で左近衛中将から一気に内大臣・関白に任じられ、翌年には安徳天皇の

法皇は脱走します。基通も同行を迫られますが、最終的には後白河法皇のもとに逃れました。この時、完子は平家一門・安徳天皇とともに西走、文治元年（1185年）壇ノ浦の戦いで一門が海中に沈むなか命を長らえ、建礼門院とともに京都に護送されています。

基通はその後、後白河法皇の側近として仕え、安徳天皇の次の後鳥羽天皇の摂政となり宮廷に返り咲きましたが、義仲のクーデターにより解任され、寿永3年（1184年）義仲が討たれると復活しました。しかし、かつて平家と緊密な関係であったことから、叔父である九条兼実などから基通に対する非難が相次ぎ、文治2年（1186年）には、源義経が兄である頼朝追討の院宣を法皇に出させることを仲介した張本人とみなされ、すべての任を解かれました。

建久7年（1196年）鎌倉幕府との提携を嫌う後鳥羽天皇や反兼実派によって、再び関白に任じられ、建久9年には土御門天皇の摂政となりますが、建仁2年（1202年）に辞任し、以後は政界から引退しました。

このように基通は源平の争乱に巻き込まれ就任・罷免を繰り返し、承元2年（1208年）に出家し、法名を行理と名乗りました。

貞応元年（1222年）頃、京田辺市内の普賢寺地区に移り住みました。このため普賢寺殿あるいは普賢寺関白と呼ばれます。

天福元年（1233年）74歳でこの地で亡くなりますが、近辺で火葬の後は高野山に納骨するだけで、追善葬家は行わないことが遺言だったといえます。普賢寺地区の字「御所ノ内」は基通の隠居地、近くの白山神社は鎮守、多々羅地区の不動堂にある不動明王立像は基通の持念仏と伝えられています。



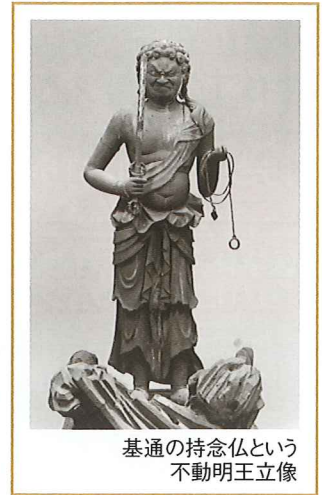
鎮守の白山神社

明治15年（1882年）近衛家28代の篤磨は、地元で基通の火葬地と伝えられていた土地を買い上げ、墓地として整備しました。近年、安全上からその地を造成する必要が生じ、発掘調査が実施されましたが、火葬の痕跡等はみつきませんでした。

現在は明治15年整備の場所から100mほど北に整備当時の姿に復元され、中央には新たに

墓石が建立されました。

近衛家は平安時代を代表する貴族である藤原氏の直系であり、藤原道長自筆の日記である国宝「御堂関白記」を代表とする10数万点に及ぶ藤原氏・近衛家に伝わ



基通の持念仏という
不動明王立像

る品々は、京都の陽明文庫が所蔵管理しています。2012年の春、これらの宝物が「王朝文化の華—陽明文庫名宝展—」と題して京都国立博物館で初めて一挙公開され、多くの見学者が訪れました。

京田辺市以外の南山城地域にも平清盛に関係した場所がいくつか知られています。宇治田原町には保元の乱（1156年）の後、後白河天皇の側近として活躍した信西^{しんせい}が平治の乱（1160年）の際、京都から逃れ自害したという場所の近くに信西入道塚があります。木津川市山城町には1180年、源頼政の勧めにより平氏討伐の令旨を発し、兵を挙げるも、宇治川合戦で敗れ興福寺へ向かう途中、流れ矢で落命した以仁王^{もちひとおう}の墓があります。どちらの墓もその死を哀れんだ近くの村人たちが築いたといわれています。以仁王は後白河天皇の第2皇子であったため、墓は現在宮内庁が管理しています。

来年の大河ドラマは、京都府の近代化に大きな役割を果たした元会津藩士で初代京都府議会議長山本覚馬の妹、会津のジャンヌダルクと呼ばれる八重が主人公です。彼女は同志社の創業者新島襄の妻となり、新島を兄とともに支えた人物で、どのようなストーリーになるのか期待されます。

Topics 9

第4回 「けいはんなヘルスケア・イノベーション研究会」開催

『生体工学が変える近未来ヘルスケア』とは!

「デジタルヘルス」が新たな産業へと成長する!

医学体系の3本柱のひとつである「リハビリテーション医学」に注目しよう!

既成の製品でもその不満を知るフィードバックで新たな製品開発を!

講師:横山 幸三氏

横山全身管理センター 代表

1961年鹿児島県生まれ。1986年鹿児島大学歯学部卒。2004年鹿児島大学大学院医歯学総合研究科先進治療学専攻助教授。2006年より現職。元オランダ健康医学研究所学外査読委員。鹿児島第一医療リハビリ専門学校兼任講師。



平成24年9月4日、けいはんなプラザで第4回「けいはんなヘルスケア・イノベーション研究会」を開催、横山幸三氏による『生体工学が変える近未来ヘルスケア』と題する講演に企業・大学関係者ら約60名が参加し、熱心に耳を傾けました。

講演会は、神経障害に対する物理治療のリハビリや手術中の全身管理の専門家である横山氏が医療・ヘルスケアの近未来について語り、同分野での事業成功のためにどのような戦略が必要かなどについて、約90分間にわたり熱弁をふるいました。

講演の中で横山氏は、医療・健康・介護と技術を結びつけた「デジタルヘルス」が新たな産業(=社会インフラ)として注目されており、同分野を国内の牽引市場として盛り上げようと政府の施策も活発化してきたと強調。しかし、現段階では「電子カルテ等の医療機関に導入するシステムを除くと、事業として定着した例は少なく“永遠の期待分野”に留まっている」と述べ、期待と実態が乖離しているデジタルヘルス市場の開拓はまだ不十分だと指摘しました。

こうしたことから、医学体系の3本柱(治療・予防・リハビリ)のひとつであるリハビリテーション医学に注目すべきだとし、同分野で成功するためには、臨床現場の声を反映し、必要なものは何かを考えることが重要であるとしたうえで、「既成の製品でもその不満を知るフィードバックで新たな製品開発が生まれる」と述べました。質疑応答では医療従事者らから活発な質問が飛びかうなど、有意義な講演会となりました。



企業・大学関係者ら約60名が詰めかけた「ヘルスケア・イノベーション研究会」の講演会



72枚のスライドを使って熱っぽく語る講師の横山氏

けいはんなプラザ イベントカレンダー

一般の皆様へ

10月 忍たま乱太郎ショー&池田彩ファミリーコンサート

日時 10月13日(土)2回公演[1回目・11:30(11:00開場)、2回目・14:30(14:00開場)]
 場所 けいはんなプラザ「メインホール」 料金 2,300円(全席指定) ※2歳以上有料
 主催・問合せ (株)けいはんな コンベンション事業部 TEL 0774-95-5115



けいはんな映画劇場「一枚のハガキ」

第23回東京国際映画祭 審査員特別賞受賞 映画を愛するすべての人に、いまを生きるすべての人に、観てほしい。日本映画界の至宝、新藤兼人が99年の人生をかけた最後の最高傑作

日時 10月26日(金)[10:30~14:00~19:00~]、10月27日(土)~28日(日)[10:30~13:00~15:30~] 場所 けいはんなプラザ「メインホール」
 料金 ※当日券のみ 一般/1,000円、小・中学生、シニア(60歳以上)、けいはんなプラザ友の会会員/700円
 主催・問合せ (株)けいはんな コンベンション事業部 TEL 0774-95-5115

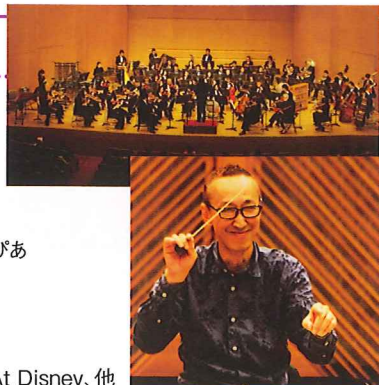
11月 けいはんな劇場 劇団四季ファミリーミュージカル「王様の耳はロバの耳」

日時 11月4日(日) 開演時間 15:00(14:30開場) 場所 けいはんなプラザ「メインホール」
 料金 全席指定/前売り、一般/4,800円、けいはんなプラザ友の会会員/4,600円、当日券5,500円
 チケット取り扱い (株)けいはんな コンベンション事業部 TEL 0774-95-5115(平日:10:00~17:30)



ボブ佐久間 with 京都市交響楽団

日時 11月23日(金・祝日) 開演時間 14:30(14:00開場)
 場所 けいはんなプラザ「メインホール」
 料金 全席指定/前売券2,500円、当日券3,000円
 ※未就学児(小学生未満)の方は入場できません
 (株)けいはんな(窓口販売のみ)、ケイ・ネット平和堂 京田辺店(アル・プラザ京田辺1階)、チケットぴあ
 問合せ (株)けいはんな コンベンション事業部
 TEL 0774-95-5115(平日:10:00~17:30)
 指揮 ボブ佐久間 演奏 京都市交響楽団
 曲目 <第1部>ロイドウェッバー メドレー、オペラ座の怪人、Dreams At Disney、他
 <第2部>007メドレー、Love At The Movies Vol2、他 ※曲目は変更になる場合があります。



けいはんなプラザ・プチコンサートIN京田辺at同志社クローバー祭2012

日時 11月3日(土・祝日) 時間 11:00~11:45、13:15~14:00(2ステージ)
 場所 同志社大学京田辺キャンパス ローム記念館劇場空間 料金 無料
 申込 不要 ※車両での来場はご遠慮ください。 TEL 0774-95-5105
 主催・問合せ けいはんな学研都市活性化促進協議会、けいはんなプラザ・プチコンサート実行委員会<(公財)関西文化学術研究都市推進機構内>
 演奏者 横山 亜美<第一ヴァイオリン>、大西 智子<第二ヴァイオリン>、井上 望<ヴィオラ>、時本 野歩<チェロ>
 演奏曲(予定) ドボルザー<ク>弦楽四重奏曲「アメリカ」、モーツァルト<ディベルティメント> 他
 ※けいはんなプラザのイベント詳細は、ホームページをご覧ください! <http://www.keihanna-plaza.co.jp>

けいはんな情報通信フェア2012 情報通信で拓く未来の科学と技術

日時 11月8日(木)~10日(土)(※詳細は、けいはんな情報通信フェアのホームページをご覧ください。 <http://khn-fair.nict.go.jp/>)
 場所 けいはんなプラザ、ATR、SCSK(株)大川センター、国立国会図書館関西館
 問合せ けいはんな情報通信フェア2012実行委員会事務局(独)情報通信研究機構内
 TEL 0774-98-6900 E-mail khn-fair@khn.nict.go.jp

12月 けいはんなプラザ・プチコンサートIN精華atけいはんな記念公園

日時 12月23日(日) 場所 けいはんな記念公園
 主催・問合せ けいはんな学研都市活性化促進協議会、けいはんなプラザ・プチコンサート実行委員会<(公財)関西文化学術研究都市推進機構内>
 TEL 0774-95-5105

Welcome to けいはんな

ナチュラル フレンチ 「ビストロ・ヨシムラ」

2006年10月に精華町で開店し、2012年5月に木津川市へ移転されたナチュラル フレンチ レストラン「ビストロ・ヨシムラ」。

「精華町のお店では店舗が狭く、カウンター席を入れても20名様位しか入らなかったため、団体の予約をお断りするしかありませんでしたが、木津川市へ移転して、広がったので、倍の40名様位はお受けできるようになりました。

“シックな感じ”&“色んなシチュエーション(デート・お誕生日・結婚記念日・家族・団体・etc...)”で使える。”というのを大事にしたいです。また、ご飯を楽しんで来てくださる&雰囲気を楽しんで来てくださるお客様を、ずっとずっと、大切にしていきたいです。」と語る吉村オーナーシェフ。

予約の取れないお店としても有名で、特にLunchは2、3週間先まで予約で埋まっているそうです!是非、お早目に予約をされることをお勧めいたします!



「ビストロ・ヨシムラ」

住所 〒619-0222
京都府木津川市相楽新堂前5-2

TEL&FAX 0774-46-9900

営業時間 ランチ 11:30~14:00
ディナー 18:00~21:30(L.O.21:00)
毎週月曜・第2火曜日定休日

メニュー

Lunch ランチ

Aランチ	¥1,500
Bランチ	¥1,950
Cランチ	¥2,500
シェフランチ	¥3,000
おまかせランチ	¥3,500

Dinner ディナー

Aコース	¥3,500
Bコース	¥4,500
Cコース	¥6,000

※2012.9.7現在のメニューです。
※コース内容に関係なく、お任せコースにも出来るそうです!お店に尋ねてください。

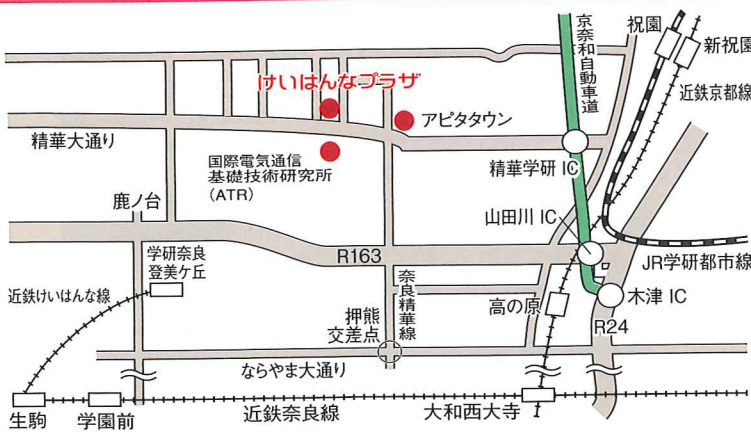
大阪オフィス移転のお知らせ

この度、2012年7月2日より弊機構の「大阪オフィス」を下記のとおり、けいはんなの本部内に移転いたしました。これに伴い、組織名も「新産業創出会員事業室」と改め、一層の成果の拡大や広報の充実等に努めてまいり所存でございます。今後とも何卒倍旧のご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

**公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
新産業創出交流センター 新産業創出会員事業室**

〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ・ラボ棟3階
TEL:0774-98-2245 または 2277
FAX:0774-98-2202

(公財)関西文化学術研究都市推進機構



〒619-0237
けいはんな学研都市(精華町光台1丁目7) けいはんなプラザ・ラボ棟3階
TEL: 0774-95-5105 FAX: 0774-95-5104

編集後記

夏休みを利用して、初めてトルコ(正式名=トルコ共和国)へ行ってきました。思った以上に、どこへ行っても普通に日本語が通じ、反対に現地の人からは、「これは日本語では何て言うの?教えて!」と聞かれるくらいで、日本がそんなに有名だったとは驚きでした。

“けいはんな”という地区=地名も、そんな感じで、全国の誰が聞いてもすぐにわかってもらえるくらいに、<知名度>がもっとも上がるというのに。 どうしたら、<知名度>ってあがるのでしょうか?…と、ふと思いました。

毎年、秋には“けいはんな地区”でのイベントが沢山あります。是非沢山の方にご参加いただいて、<もっともって“けいはんな”という地区を知っていただけたら。>と思います。(智)

URL <http://kri-p.jp>